



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	エスエスケイフーズ藤枝新工場計画Ⅰ期	BEE	1.1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0 /5		ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0 /5		ふつつ	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4 /5		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.0 /5		ふつつ	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	
			ふつつ 3 点以上	
			がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点	3.0	
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 外壁・屋根等の断熱性能に配慮している</li> <li>④ &lt;工&gt;床:コンクリート+塗床、壁・天井:石膏ボード</li> <li>④ 主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 外構緑化指数:15%以上</li> <li>⑥ 空地率:80%以上、緑被率・水被率・中・高木の水平投影面積率:10%以上</li> </ul> </li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>③ LED照明の採用</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪ 節水コマ+省水型便器の採用</li> <li>⑪ 井水の利用</li> <li>⑫ 再生クラッシュラン、再生アスファルトを採用</li> <li>⑫ 解体時に分別しやすいボード下地構成、OAフロアの採用</li> <li>⑬ 発泡断熱材を採用していない</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑭ ライフサイクルCO2排出率:83%</li> <li>⑮ 見付面積率:60%未満、隣棟間隔指標:0.5以上、屋根面対策面積率:20%未満</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制 LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒 LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善			
	<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑯ 地域係数:1.2の耐震性を確保している。</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		3.0
		<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑲ &lt;工&gt;3.9m≦平均階高:4.33m</li> <li>⑲ 壁長さ比率:0.1未満</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>㉑ 夜間照明の設置により、防犯に配慮している。</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上		2.4	
	<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/⑷敷地内温熱環境の向上)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑵ 外構緑化指数:15%以上</li> <li>⑶ 建物高さを周辺のまちなみに調和させている。</li> <li>⑷ 空地率:80%以上、緑被率・水被率・中・高木の水平投影面積率:10%以上</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑸温熱環境悪化の改善)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑸ 見付面積率:60%未満、隣棟間隔指標:0.5以上、屋根面対策面積率:20%未満</li> </ul> </li> </ul>	Q-3 1 ⑵ 生物環境の保全と創出 2 ⑶ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ⑷ 敷地内温熱環境の向上 LR-3 2 2.2 ⑸ 温熱環境悪化の改善		3.0	

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エスエスケイフーズ藤枝新工場計画	階数	地上 4F
建設地	藤枝市高田字森下81-16, 字柳坪162	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、法第22条区域	平均居住人員	90 人
地域区分	7地域	年間使用時間	6,048 時間/年(想定値)
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年11月26日
敷地面積	33,128 m <sup>2</sup>	作成者	中設エンジ株式会社
建築面積	5,822 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	12,416 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.1</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 83% ③上記+②以外の 83% ④上記+ 83%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 3 Q3 室外環境(敷地内): 3 LR1 エネルギー: 3 LR2 資源・マテリアル: 3 LR3 敷地外環境: 3</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.8</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.5</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.4</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.5</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.4</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b> 建物の長寿命化と省エネルギー対策、地球温暖化防止に配慮している。 これはCASBEE 静岡 2016年度版による評価結果です。</p>		<p><b>その他</b> 特になし</p>
<p><b>Q1 室内環境</b> 外壁、屋根裏等への断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。化学汚染物質にも配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の永い配管配線材料を採用し、ライフラインである電気などの防災対策に配慮している。将来の用途変更可能性などを考慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> 高効率機器の採用で設備システムの高効率化を図っている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水器具や省水型機器を採用し、水資源の保護に努めている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO<sub>2</sub>を削減し、地球温暖化防止を図っている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される